

# 令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：感染症対策課  
 担当名：感染症・新型インフルエンザ対策担当  
 内線：7330 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B5	クラウド型医療通訳映像システムによる感染症対策事業		一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	感染症予防費	
事業期間	平成30年度～令和5年度	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化	SDGsゴール	
					分野施策	020519 感染症対策の強化	SDGsターゲット	
1 事業概要			5 事業説明					
<p>グローバル化の進展や国際的イベントの開催、改正入国管理法を契機とする外国人材の受入れ活発化に伴い、今後外国人労働者及び観光客の増加が見込まれる。そこで、日本語が不自由な外国人感染症患者に対して、感染症まん延防止のための調査・指導を適切に行うことを目的として、県13保健所に導入したクラウド型医療通訳映像システムを円滑に運営する。これにより、言葉が通じないことによる感染症の拡大を未然に防ぐ。</p> <p>(1) システム運営費                      契約差金により減 △2,000千円</p>			<p>(1) 事業内容                      日本語が不自由な外国人感染症患者に対して、感染症のまん延防止のための調査・指導を適切に行うことを目的として、県13保健所に導入したクラウド型医療通訳映像システムを活用することにより、言葉が通じないことによる感染症のまん延防止を図る。</p> <p>ア システムの内容                      保健所職員が外国人対応が必要な際に、タブレット端末によるディスプレイを通じて、医療通訳オペレーターによる外国語医療通訳サービスを利用する。</p> <p>イ 通訳内容                      感染症法に基づく感染症のまん延防止策である。具体的には、患者及び家族その他接触者の行動調査、入院院支援、健康相談、保険相談、服薬支援等である。</p> <p>(2) 事業計画                      クラウド型医療通訳映像システムの運営 4,334千円                      ・クラウド型医療通訳映像サービスを提供する事業者へ委託して実施する。                      ・対応言語は10か国語とする。                      (英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語)</p> <p>(3) 事業効果                      ・通常2週間要する通訳派遣に係る調整事務が数分へと大幅に短縮、あわせて人件費を削減                      ・タブレット端末で場所を問わず利用でき、原則24時間365日対応可能であるため、昼夜問わず迅速に対応                      ・医療に係る専門用語に長けたサービスであるため、保健所による正確な調査が可能                      ⇒外国人感染症患者に対し、適切に調査・指導を行うことにより、言葉が通じないことによる感染症の拡大を未然に防ぐ。もって、県民及び来訪者へ安心を提供する。</p> <p>(4) 補正予算の概要                      ・入札に係る契約差金に伴う減額</p>					
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,000	国庫支出金	△1,000				△1,000	1,562
現計額	3,562		1,781				1,781	